

有識者会での検討内容・・・大田区の交通のあり方の提言

1) 計画の理念

有識者からのご意見と、交通政策基本法の基本理念を踏まえるとともに、区の計画の基本である大田区基本構想の基本目標の実現を交通分野から図るため、「健康」、「都市の活力」、「環境」の3つのキーワードからなる区の交通の理念（案）を設定しました。

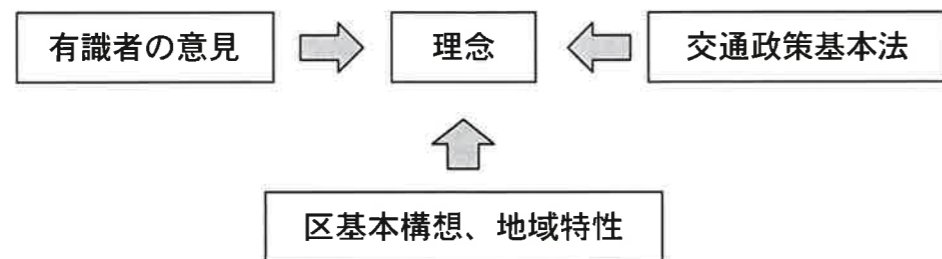


図 理念の設定

理念（案）

【キーワード：健康】
 誰もが生涯を健やかに安心して
 生き生きと暮らせるまちを支え
 る交通

- ・誰もが自立した日常生活及び社会生活を確保できるまちづくりを交通で支援。
- ・元気な高齢者を増やし、住みなれた地域で、健康な心身を保ち尊厳を持って暮らせるまちづくりを交通で支援。
- ・子育て世帯、高齢者、障がい者など、移動の支援が必要な人を公共交通等で支援。
- ・安全に外出できるように、交通安全を確保する。

【キーワード：都市の活力】
 まちの魅力と産業が世界に向け
 て輝く都市を支える交通

- ・産業、観光等をはじめ、女性や高齢者の社会進出を支えるなど、地域経済の活性化を交通で支援。
- ・活発な地域間交流や物資の円滑な流通等を交通で支援。
- ・災害による交通の機能の低下、機能回復への対応。

【キーワード：環境】
 地域力と行政の連携がつくる人と
 地球に優しいまちを支える交通

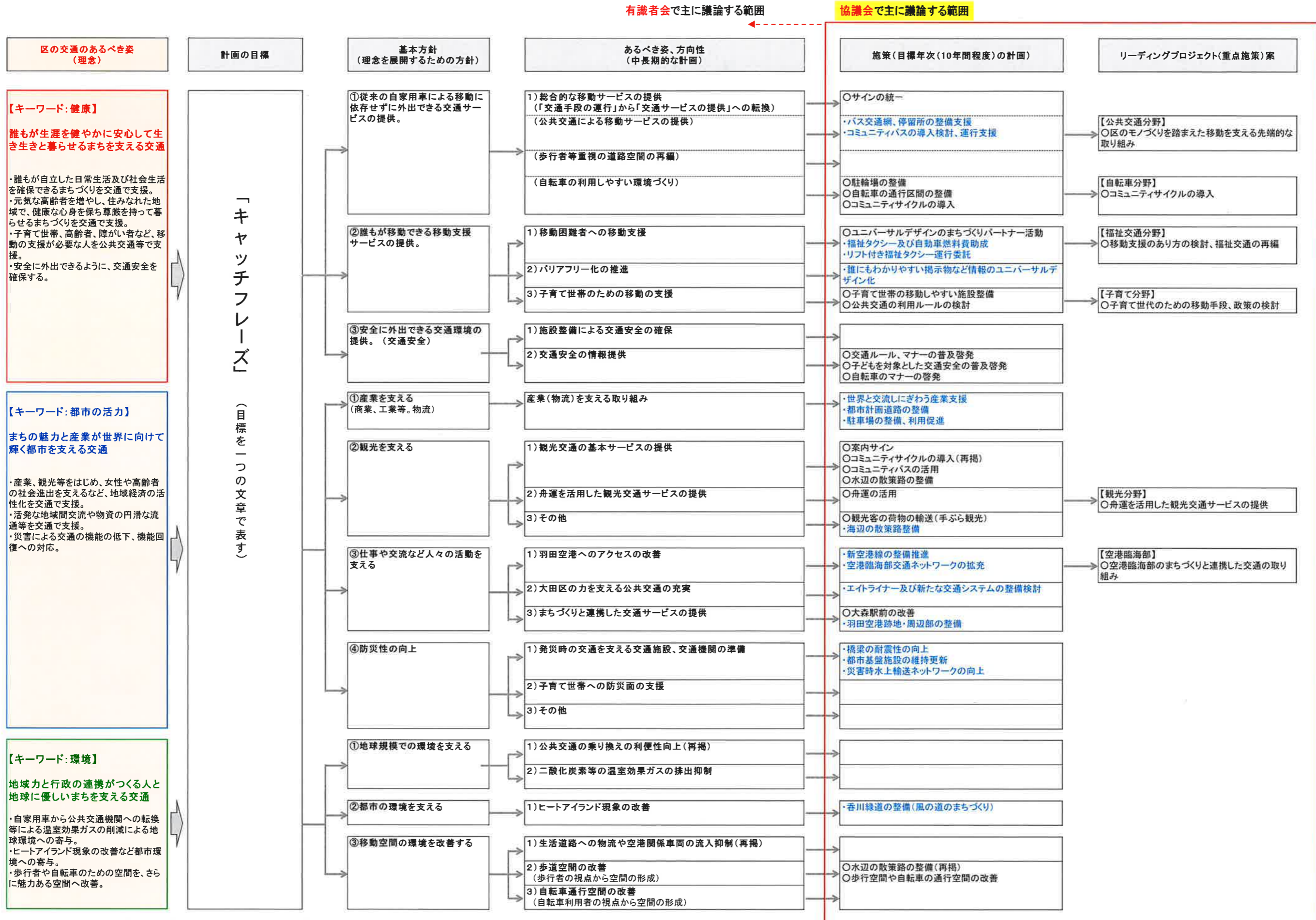
- ・自家用車から公共交通機関への転換等による温室効果ガスの削減による地球環境への寄与。
- ・ヒートアイランド現象の改善など都市環境への寄与。
- ・歩行者や自転車のための空間を、さらに魅力ある空間へ改善。

■（参考）理念（案）に対する有識者会での主な意見

	有識者会での意見
理念の必要性	・20年間くらい持ちこたえるような理念があり、それに基づいて個別の課題があるのがよい。
理念と施策との関係	・理念だけで進めると、実際の事業につながりにくい。逆に事業からだけ進めると、大きな理念につながりがない。 ・そのため、理念から検討することと、区の課題への対策の両方から考えることが必要。
3つのキーワードの設定について	・キーワードとして「健康」、「都市の活力」、「環境」という3つのキーワードを挙げている。これは区の基本構想の3つの軸と対応している。 ・今後、協議会や区民の方々とのコミュニケーションなどを経て変更になる可能性がある。 ・キーワードの表現自体、まだ調整の余地がある（下記参照）。 ・しかし、概ね示したいことの方角性は、ここに示した通りであり、概ねこの方向で進めたい。 ※「安全」、「防災」については、上記の中に入れ込むことを想定。
3つのキーワードについて	・「健康」、「都市の活力」、「環境」という3つのキーワードについては、トリプルボトムライン [*] 的に言えば、「社会」、「経済」、「環境」とも対応する。 ・「環境」については、環境の取り組みは、それだけが独立しているわけではなく、ほかの取り組みに関係していることもある。 ・以下の6つの要素の掛け算、あるいは、これらがちりばめられていると考えることもできるのではないかと。 ①対象・・・「人」がいて、「産業」があって、「まち」がある ②舞台装置・・・「環境」、「安全・安心」、「コミュニティ」 ・理念としては、長続きする言葉、よく使われる言葉で構わないと思う。 ・それよりも中身と、それを実現する手立てが重要。
キーワード「健康」について	・キーワードの「健康」については、「高齢者の健康」が中心という印象を受ける。子育てや観光客といった方々も移動弱者なので、そのような方々についても配慮した表現になるとよい。 ・「健康」というキーワードは、ミクロ的ではないか。もう少しマクロ的な事を考えて、「人の移動の活性化」のような表現のほうがよいのではないかと。 ・キーワードの「健康」には、「安全」や「円滑」などのニュアンスも入っている。もう一回り大きい表現があればよいのではないかと。 ・暮らしの中でどのように自立した日常生活を送るか、「健康」というところにそのような視点を入れるとよいのではないかと。

^{*}トリプルボトムライン：組織による取り組みを、持続的発展の観点から、「経済」だけでなく、「環境」と「社会」の側面からも総合的に評価する考え方のこと。トリプルボトムラインは、一定程度、交通について考えるうえでも必要。なお、その中身は時代とともに、あるいは地域で異なる。

2) 計画の全体像（フレームワーク）のイメージ



※有識者への事前説明および第1回有識者会での有識者からの意見等を参考にして整理したイメージ。青字は、関係部署へのアンケート結果で回答があった施策から抜粋して整理。